

卸売業

回答企業29企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比3.4ポイント低下の▲13.8と悪化し、前回調査予想値(0.0)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で34.5ポイント上昇の6.9、売上数量が34.5ポイント上昇の3.5、利益では13.8ポイント上昇の▲6.9となった。

農産物は猛暑の影響から品質、生産量とも悪化し業況に影響あったものの、りんごについては品薄から産地価格、販売価格とも高値で推移。取扱量は減少しているが、利益確保が見込まれている。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

酒類等卸売業は、年間を通して一番の繁忙期であり売上は増加となったがコロナ禍前の水準には達していない。

自動車関連部品卸売業は、スタッドレスタイヤ販売時期となり業況活発に推移。

米卸売業は、収穫期により多忙となったが価格は前期に比べても大きく変化なく例年並みに推移した。

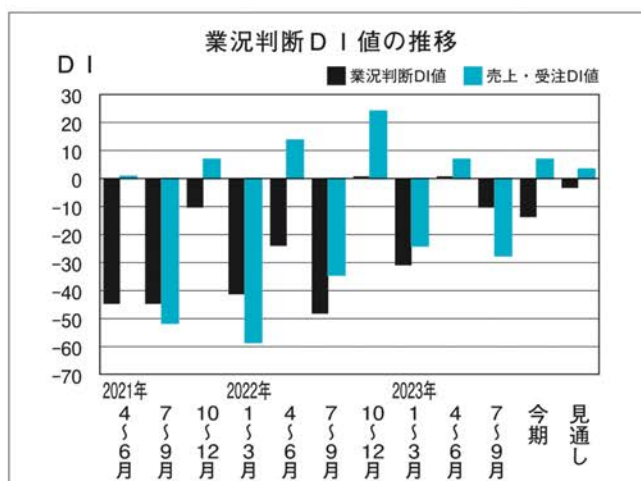
建設資材卸売業は、建設業界全般の低迷から売上高減少傾向となった。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや改善の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比10.4ポイント上昇の▲3.4とやや改善の見通しである。項目別では、売上・受注で3.5ポイント低下の3.4、売上数量も24.2ポイント低下の▲20.7、利益では0.0ポイントの▲6.9と項目別ではやや低下の見込みとなった。

りんごについては、輸出が活発となるが各業者とも数量確保が難しい状況にある。



小売業

回答企業91企業

概況

～業況判断D I 値 悪化で推移～

今期の業況判断D I 値は、前回調査比14.3ポイント低下の▲19.8と悪化し、前回調査予想値(▲15.4)を下回る結果となった。項目別では、売上・受注で16.5ポイント低下の▲8.8、売上数量が13.2ポイント低下の▲8.8、利益でも11.0ポイント低下の▲18.7となり、すべての項目で悪化となった。

スタッドレスタイヤ、ケーキ、灯油など季節商品の売上高は良好に推移したが、総体的には前期を下回る結果となった。

分野別の状況

～総合的業況は悪化で推移～

酒類小売業は、お歳暮や忘年会等のイベントにより売上高は好調に推移した。

青果物小売業者においては、りんごの品薄や仕入価格高騰を受け仕入減少により売上高は減少となった。

除雪機販売業者においては需要期を迎えたものの、相変わらず入荷数少なく、販売増とはならず修理が増える結果となった。

燃料等小売業は、農村地区については売上は横ばいとなるが、市街地においては競争激化により業者間格差あり。灯油の需要期となり総じて売上は増加傾向にあった。

コンビニにおいては、クリスマスケーキの販売が好調で売上全体を押し上げた結果となった。

来期の見通し

～業況判断D I 値 やや改善の見通し～

来期の見通し業況判断D I 値は、今回調査比4.4ポイント上昇の▲15.4と、やや改善の見通しである。項目別では、売上・受注で1.1ポイント低下の▲9.9、売上数量が2.2ポイント上昇の▲6.6、利益は2.2ポイント上昇の▲16.5となった。

各業種とも、年間を通して一番の閑散期となるがやや改善の見通しとなった。

